

9月19日（火）その71 スポーツの話題 —東浜巨と宮里藍—

敬老の日を含む3連休でしたね。多くの催し物があって台風の影響が心配されましたが、「全島エイサーまつり」も「安室奈美恵のコンサート」も無事に終了したようですね。今日は、本県の青少年に大きな夢と希望を与えてくれている2人の選手の話をお送りします。

16日夜、ソフトバンクがパ・リーグ優勝を果たした。工藤監督の涙の胸上げが見られました。ソフトバンクの優勝は、2年ぶり20度目の快挙である。ソフトバンクは昨年、最大11.5ゲームも引き離していたのに夏場に失速し、日本ハムに大逆転でペナントを奪われてしまいましたね。

後に発表されるパ・リーグのMVP候補は、ここまで51セーブを挙げプロ野球記録を更新中のサファテや、三冠王の可能性もある柳田が挙がるだろう。そしてもう1人、優勝を決めた試合にも登板し16勝目（単独トップ）を挙げ、最多勝のタイトル争いを引っ張る東浜巨（ひがしはま・なお）だ。

東浜はご承知の通り沖縄尚学高校時代・2008年春の選抜大会の優勝投手。夏は地区大会決勝で敗れて甲子園には行けなかったが、卒業後亜細亜大学を経て、2012年ドラフト一位指名でソフトバンクに入った。3勝、2勝、1勝と低迷したが、2016年は9勝をあげた。工藤監督から将来のエース候補の一人として「強化指定選手」に指名され、監督直々の投球理論を注入されてきた。昨年シーズン中でも約2時間の体幹トレーニングを週3、4日こなしているそうである。

今シーズンは順調に白星を重ね、7月末に初の2桁10勝に到達すると、才能が大きく開花し、マジック1となっていた16日先発登板して勝ち投手となり、自身の背番号と同じ16勝目をあげている。（東浜の「野球日誌」がメインの本の一部を朗読する。HPではごめんなさい、紙面の都合でカット。）

すでに引退を発表している宮里藍の最終戦「エビアン選手権」が終わった。高3の時、「宮城テレビ杯ダンロップ女子」でアマチュア優勝を果たして、プロ転向。日本でのいくつかの大会で優勝した後、アメリカのツアーに本格参戦して平成22年（2010年）には、シーズン4勝を挙げ日本選手初の世界ランキング1位となった。メジャー大会こそ制覇できなかったが、アメリカツアーで9勝を挙げた。

14日アメリカニューヨークタイムズは、宮里藍を特集し、宮里の業績や世界トップレベルの選手達が宮里を賞賛していることを紹介したようだ。

「学校一番ゴルフは二番」が父親の宮里優さんの教育方針であったそうだ。宮里藍は勉強も部活動（バスケット）も、総合学習での魚を裁くことも三線の練習も一生懸命やったようである。宮里藍の魅力は、（ゴルフの実力+人間力）なのである。だから世界の強豪達がこぞって宮里を称賛するのである。おそらくゴルフ以外のことでも、素晴らしい活躍をしたに違いない。

宮里は、「少し休んで、皆さんに自分が必要とされていることをやっていきたい」と述べたようである。おそらく今後もゴルフに関係する仕事をしていくのだろうが、「愛ちゃんスマイル」の言葉もあるように、あの笑顔と、はきはきした歯切れのいい対応、流ちょうな英語など、日本全国でも好感度はトップレベルで、マスコミ等も見逃すはずはない。日本中の青少年にもっと夢と希望を与えるような仕事を頑張りたい。

9月20日（水）その72 朝ドラ「ひよっこ」の挑戦！

私と妻は同い年なので、去年の3月同時に退職した。2人とも一年間は全くの「自遊人」だったので、妻と一緒に過ごす時間が増えた……。朝ドラは、教員時代はほとんど見られなかった。退職したら時間があるので毎朝2人で見ることにした。昨年度の「とと姉ちゃん」、「べっぴんさん」は、毎回欠かさず見た。今度の「ひよっこ」も私は毎回見ている。妻は8月中旬までは毎回見ていたが、その後は一緒に暮らしてないのでわからない。(笑)

今は昔と違って、娯楽がテレビだけではなく多様化しているので、若者のテレビ離れが進んでいるらしい。だからたいいのドラマの視聴率は10%前後が多いようだ。しかし朝ドラは常に20%を超え、NHKの看板番組でもある。もう一つの看板の大河ドラマ「おんな城主・直虎」の視聴率が11%と低迷している。だからNHKにとって「朝ドラ」様々なのである。

「この写真は私が若いときの写真です。」(と言って、3人のイケメンの写真を見せる)(笑)

朝ドラのファンは主婦層の女性が圧倒的に多い。だから新人のイケメンの登竜門になっている。最近では「朝が来た」のディーン・フジオカ、「とと姉ちゃん」の坂口健太郎、そして「ひよっこ」では大学生「島谷」(みね子の初恋の人)役の竹内涼真というイケメンが大ブレイクし、世の女性達のハートをわしづかみにして、他の番組でも引っ張りだこなのだそうだ。

朝ドラというのは、ご承知のようにNHKの番組「朝のテレビ小説」のことである。昭和36年(1961年)から始まったようなので、もう50年以上放送されている。最初は一つの作品を一年間放送していたが、昭和50年(1975年)から年に2作品放送するようになった。古い時代の朝ドラは視聴率40%を超えるものも多い。その中で特に昭和58年(1983年)放送の橋田壽賀子脚本の「おしん」は、30周年記念として一年間放映され平均視聴率52.6%(最高視聴率62.9%)をたたき出した。これはテレビドラマの最高視聴率だそうだ。「おしん」は世界68カ国で放映され、世界中の人々が共感した。

今の「ひよっこ」は96作品目であるようだ。朝ドラは多くの日本人が朝一番に見るので、元気が出るさわやかな内容の話が多い。これまでは「ある女性の一代記」が多かったが、「ひよっこ」は違う。

主人公は「谷田部みね子」という茨城県の田舎出身の女性で、東京オリンピック後の1960年代後半の東京が舞台である。出稼ぎ中のお父さんが東京で行方不明となり、(昔は「蒸発」と言っていたな)それがきっかけで高校卒業と同時に東京に集団就職する。最初に就職した家電メーカーが倒産し、洋食屋で働くことになる。高度経済成長期の東京で、どこにでもいそうな名もなき少女達が日々成長し、たくましく生きていく青春群像ドラマである。

主人公を取り巻く一人一人の少女達のそれぞれの物語も丁寧に描いていて、「ひよっこ」だけに、これまでの朝ドラの殻を打ち破ろうとしている。(笑)

60代のお姉様方は、「あの時代は私もそうだった!」と、群像の中の誰かに共感しながら見ているのだろうか。

みね子と秀の恋の行方(その他の人の恋も)やお父さんの記憶喪失にどう決着をつけるのか、楽しみである。今週・来週は研究所も修了式や入所式で忙しいが……何が何でも「ひよっこ」を見るぞ!!(笑)

9月21日（木）その73 読書はしないといけないの？

3月上旬だったと思うが、朝日新聞に掲載されたある大学生の投書が波紋を広げていると NHK のニュースで放送していた。私は強い興味を抱いたので、公立図書館に行き朝日新聞を調べた。「主体的で深い学び」だなあ（笑）

今年の2月末の朝日新聞に、「大学生の読書時間が『0分』が5割に」というみだしで、全国大学生生活協同組合連合会の調査結果が掲載されていた。国公立私立大学 30 校 10,155 人から回答があったらしい。一日の読書時間が0分と答えた大学生は 49.1 %で平均でも 24.4 分だった。それに反してスマホの一日あたりの利用時間は 161.5 分だったそうだ。

この記事を見て東京都の安部〇〇さんという大学生（21 才）が、3月8日の同新聞に、次のように投書をしていた。

読書はしないといけないの？

「大学生の読書時間0分が5割に」の記事に、懸念や疑問の声が上がっている。もちろん読書をする理由として教養を身に付け、新しい価値観に触れるためというのはあり得るだろう。しかしだからと言って本を読まないのはよくないと言えるのだろうか。

私は高校生の時まで読書は全くしなかった。それで特に困ったことはない。強いて言うなら文字を追うスピードが遅く、大学受験で苦勞したくらいだ。大学では教養学部ということもあり、教養や社会一般に対する書籍を幅広く読むようになった。だが、読書が生きる上での糧になると感じたことがない。役に立つかも知れないが、生きていく上で問題はないのではないかというのが本音である。

読書よりもアルバイトや大学の勉強の方が必要と感じられるのである。読書は楽器やスポーツと同じように趣味の範囲であり、読んでも読まなくても構わないのではないか。なぜ、問題視されるのか。もし読書をしなければならぬ確固たる理由があるならば、教えていただきたい。

さて、読書活動を推進している皆さんなら、この大学生にどのように答えますか？私なら「あなたの自由だから、どうぞご勝手に!!」と言いたい。

校長時代に毎年中学生に「読書の効用」を次のように語ってきた。○ことばをいっぱい知ることができる。○知識が豊かになり、必要な情報が得られる。○昔の人が書いたものも読むことができる。○他人が一生かけて学んだことを短い時間で学べる。○考えながら読むので、思考力、読解力、想像力等が鍛えられる（文字が頭の中で映像や音声に変わっていく）。○自分の心をみがける、鍛えることができる。……等々である。

最近インターネット等で効率よく検索をして、コピー&ペースト（貼り付け）で、レポートなどを仕上げる学生が増えていると聞く。しかし効率はいいが、自分の考えをきちんと持っていない人が増えていると、何かで読んだ気がする。

読書は必ずしも即効性があるわけではない。しかし多くの本を読んだり、同じ本を何度も何度も読んだりして、ゆっくり・じっくりと思考力を鍛えていくことができる。人間は言葉でしか思考することができないのだ。人の心の豊かさは、効率よい「コピー&ペースト」で作りあげることにはできない。